

事業所名	放課後等デイサービス イオ平鹿		公表日		2025年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	・身体を動かす際はグループごとに時間差にしている。 ・テーブル等の配置を変更してスペースを確保している。	・身体を思い切り動かすスペースがない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3		・最低限の配置数と感ずる。 ・突発的な対応が重なり職員数に不安を感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・完全なバリアフリーにしないことで一般家庭での生活を想定している。助けを求められることができるように支援している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・清掃や換気などを行い、清潔を保てるようにしている。 ・室温や湿度などにも気を付けている。	・同時に複数の活動を行うと他グループの音が気になって集中できないことがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・体調不良時や気持ちを落ち着かせたい時に使用できる部屋を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・定期的に取り組んでいる。	・職員全員で振り返る時間が少ない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・できる範囲で意向にそえるように努力している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・毎朝のミーティングや職員会議で検討したり実行したりしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	・第三者委員による外部評価は行っていないが、関係機関からのご意見をもとに業務改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・外部研修の受講や法人内の各種委員会による研修などに参加している。 ・支援プログラムを作成してホームページで公表している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・支援に関わる職員による評価や意見をもとに児童発達支援管理責任者が計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・ミーティング等で共有し、計画を意識して支援できるようにしている。 ・活動だけではなく生活する中でも支援できるように意識している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・外部機関で実施された検査結果でも発達状況を把握している。 ・面談やアンケートを用いて発達状況やニーズを確認している。	・インフォーマルなアセスメントに関しては、職員によって受け取り方が異なり、共通認識する必要がある。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・特性や発達状況を踏まえて必要な項目を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・メインとなる職員を中心に全員で行っている。	・プログラムのねらいや関わり方を確認したり意見を言い合ったりする場が少ない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・固定化しないようにメインとなる職員をローテーションしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・個別活動は自己選択も取り入れている。 迷っている際は誘いかけて活動を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・翌日のミーティングで振り返りを行い、共有している。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・支援内容の記録を徹底している。記録をもとに支援の検討や改善を行っている。		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・概ね6ヶ月に1度計画の見直しを行っています。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0		・「地域交流の活動」が不足している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	・活動の中で自己選択する場面を設け、自己決定する機会を提供している。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者が職員の意見をまとめて参加している。	・支援に関わる職員が参加する機会が少ない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・必要に応じて連携している。	・関係機関との連携や事業所内での情報共有を円滑に行えるように努める必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	・必要に応じて共有している。	・児童の様子などを共有する機会が少ない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	・相談支援事業所を通して情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・要望があれば情報提供できるようにしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5		・直接的な連携は行えていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	・特性や発達状況を踏まえた支援のご希望が多いため、直接出向いて交流する機会は設けていない。 ・法人内の他放デイ事業所との交流を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・電子連絡帳を活用して状況を伝え合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5	・家族向けの研修会やイベント等の情報提供を行っている。	・要望もあり家族等が参加できるプログラムを検討している。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・利用契約時に説明している。不明な点は随時説明している。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・面談やアンケートを用いて意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	2		・面談等により支援内容を丁寧に説明する必要がある。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・相談等があれば適宜面談を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	1	4		・保護者同士が交流する機会を設けていないため、今後検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・苦情等があった場合は迅速かつ適切に対応するように努めている。苦情受付体制は重要事項説明書に記載して利用契約時に説明している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・毎月発行の通信やSNSを活用して活動や行事等の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報が記載された書類等はキャビネットに保管している。 ・掲示物や配布物の中にも個人情報が含まれないように配慮している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・絵や写真の活用や筆談するなど配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・招待するような行事は行っていないが、近隣の医院に協力してもらうなど地域交流できるような行事計画を心掛けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		・マニュアル策定や訓練は行っているが、家族への周知が十分ではない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・BCPIに沿った研修や訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・利用開始の際に確認している。 ・服薬等の状況について定期的に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・配慮が必要なアレルギーについて保護者からの報告をもとに対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		・計画を作成して必要な研修や訓練を行っているが、周知が十分ではない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		・周知が十分ではない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ミーティング等で共有して再発防止策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・外部研修への参加や委員会による内部研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2	・委員会を設置して身体拘束の必要性などを検討する場を設けている。	